

安雲西交流会

交流親睦会

2月23日(土)、24日(日)、年間の反省と役員の専任などを実施するため総会も兼ねて壮年会組織による親睦交流会を佐伯にて実施しました。美味しい料理に舌鼓みをうち、今後の活動などについての意見も出されるなど、会員の結束が深まった親睦会になりました。



子供会歓迎会

4月7日(日)、安雲西子供会に新一年生3名と新しく2家庭が加入し、子供会組織の結成を含めた歓迎会を行いました。新しいメンバーを迎えて今年度の活躍と地域の活性化に向けてがんばります。現在の安雲西の人口は150人(52戸)で12歳以下は22人(約15%)です。



地域内清掃活動及び研修会

5月11日(土)午前中、壮年会行事として地域における清掃活動を実施しました。地域全体の道路を歩いて水路及び農地に捨てられたゴミ類を拾いました。こうした地域の活動で皆の環境美化に対する活性化に繋がることを期待します。

午後からは金色温泉で壮年会組織で地域交流の懇親会も兼ねての研修会を行いました。交流会では政治から地域農業の今後などについて色々と意見が交わされました。結論は出ませんでしたが、地域の事は地域で守るという気持ちで今後の活動を行う事で一致しました。



上毛町ファンクラブ

ホタル鑑賞イベント「西友枝びより」

6月1日(土)、ゆいぎららで、体験メニュー付きのホタル鑑賞イベントを開催しました。

昨年までは、東上で開催していたこのイベントですが、今年はゆいぎららを拠点に西友枝で開催しました。当日は、あいにくの雨で、予定していた魚釣り体験は中止となったため、ストローを使ったホタル籠づくりを体験してもらいました。講師は昔あそびの達人、今田孝行さん。はじめは苦戦していた皆さんも、少しずつコツをつかみ、ホタル籠を完成させていました。

ホタル籠づくり体験の合間には、吉本二男さん自作の茶室を備える「雁股庵」でお茶会を開催しました。ゆず羊羹をいただいたあと、茶筌で点てた抹茶を口にした皆さん。茶室の雰囲気と抹茶の味に大満足の様子でした。

夕食の川魚と山菜料理を食べたあとは、伊藤正敏師範による伝統楽器「一節切」と山口泰斗さんのピアノ演奏が行われ、楽器の音色に酔いしれる間に日は沈み、メインイベントであるホタル鑑賞の時間となりました。午後から降りはじめた雨は激しくなっていました。それでも、参加者のホタルを見たいという気持ちを優先して計画を強行。合羽を着てホタル鑑賞スポットまで歩いていくと、前列から「ホタルだ!」という歓声が聞こえてきました。ホタルは雨の中、私たちを待っていたかのように飛び交っており、ホタル鑑賞イベントを無事に終えることができました。



●上毛町ファンクラブホームページ <http://www.kogefan.com>

吉岡交流会

いちご狩り

3月31日(日)、垂水の松本農園にいちご狩りに行きました。

地域の子どもたちも含めて31名の参加者がありました。ビニールハウスの中は暖かくて、いちごの甘い香りに包まれていました。真っ赤でつやつや光るいちごが食べ放題とあって参加者一同大喜び。いちご狩りは初めての人が多く、甘くみずみずしいいちごに大満足の日でした。



友枝川を守る会

友枝川河川公園の環境整備・美化活動

友枝川河川公園が町内外の方々の憩いの場になるように、環境・美化活動を年6-7回、男女28人でを行っています。

植樹した桜の手入れや周辺の草刈り、河川の清掃をはじめ、一年を通して多くの方に水辺環境を利用してもらえるようにコスモスの種を植えたりプランターに花の苗を植えています。これからもメンバー一同、「友枝川ふれあいの里づくり」を薦めていきたいと思います。



友枝新聞発行し隊

友枝瓦版「特集号」発行！

「友枝瓦版」創刊から5年目。今回で第20号を発行することができました。また、これを記念して「特集号」も発行しました。地域内の出来事や歳時記、活躍している方、地域に貢献している方など、さらに昔の思い出の場所と産物、そんな情報を発信して読者に共感してもらえるような記事を掲載し続けることで、郷土愛を深め、地域を動かす原動力になることを目指して瓦版を発行しています。現在の発行部数は1,000部、友枝地区内はもちろん町内や故郷を離れた方々にも(有料=1000円/年4回発行)お届けしています。これからも感動いただけるような記事を発信していきますので、関心のある方は編集長・藤本までご連絡ください。

●問い合わせ先 友枝新聞発行し隊 ☎ 72-2888(藤本さん)

